

Greeting

ごあいさつ



## 企業理念に立ち返り社会的責任を遂行して 信頼される企業を目指す

代表取締役 (COO) 翁 豊彦

日本を取り巻く経済情勢は、2009年世界経済危機に端を発し、その後も依然として厳しい状況が続いております。世界の景気は停滞感を強め、欧米の景気回復は遅延、日本経済についても回復の遅延、構造改革の遅れなどから、事業環境は激変し転換期を迎えております。このように経営環境が大きく変化する転換期にあつて、持続的な成長を遂げ、社会に貢献できる企業である為には、先ず、企業発足の理念に立ち返り、改めて企業活動の展開と企業が社会の中で果たすべき責任の遂行について考えることが必要であると考えます。

当社は創業以来、「一本の大きな木を育てるより、多くの個性ある木を育て、美しい森をつくる」という理念を掲げ企業活動を行ってきました。ゴム・ウレタン・プラスチックといった素材 (= 苗) は、これまで多くの事業 (= 木) を育ててきました。そしてこの企業理念には、美しい森を通じて『暮らしを豊かにする』という願いが込められています。また、Innovation & Globalization のスピリッツのもと、それらの森は、日本のみならずアジア、アメリカ、ヨーロッパとグローバルな広がりを見せています。

転換期にあたり、当社はこうした「多くの個性ある木を育てる」「グローバル」という2つのコンセプトに立ち戻り、これから先の企業活動を通じた社会的貢献を進めていきたいと思っております。その為に、先ず、材料技術、配合技術、プロセス技術といった技術開発の促進、マーケティング機能の強化、新規事業の開拓、人材育成に注力するとともに、これらを世界各地に広がる拠点間でネットワークさせグローバルに展開させていきたいと思っております。

当社の事業活動が皆様の暮らしを快適に豊かにすること、また、個性ある木 (= 社員) を育て、美しい森 (= 豊かな心と社会生活) をつくることによって、企業活動を通じた社会的責任の一端を遂行できるものと考えております。

今後とも、「安全」「環境」「品質向上」を大原則に、コンプライアンスの徹底、環境保全、地域社会への貢献を通じ、社会的信頼を得る企業として社会の発展に貢献して参りたいと考えておりますので、皆様には、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

そのときイノアックはどうしたか？

# 東日本大震災への対応

## 現場からの声



### グローバルに展開された募金活動

グローバル人事総務部  
石川信夫

2011年3月14日、(株)イノアックコーポレーションとイノアック労働組合は、東日本大震災で被災された方々向けの義援金募集を全世界のイノアックグループ社員に呼びかけました。義援金募金の輪は、国内の主要事業所、系列会社・関連会社58拠点をはじめ、北米、メキシコ、韓国、台湾、中国(24拠点)、タイ、インドネシア、ベトナムのイノアック社員や現地社員の方々へ広がり、大いなる善意が集まりました。

3月13日

- 毎日、朝夕の電話会議で情報共有することを決定
- 引き続き、状況確認と情報収集
- 支援物資(小型発電機など)の確保
- 通信手段の確保
- 救援チームの移動ルート検討

3月14日

- 東北から愛知への出向者5名、支援物資(発電機、水、食糧など)を積載した車で東北の自宅へ帰宅
- 支援部隊第1陣2チームを編成し、8名が安城事業所から被災地へ出発
- 関連会社安城運送の4トントラックで支援物資発送
- 宮城県大崎市よりマットレス3000枚の要請あり、8名工場より1200枚発送
- 被災地の移動用に自転車を手配
- 電池、手動バッテリーなどを全国の支店および中国で調達



支援物資

3月25日

- 雇用調整助成金の申請手続き

- 震災対策本部を終了し、個別対策へ移行

- 小牛田工場の水道が復旧

- 井上代表取締役(CEO)、東北の被災事業所巡回

- 井戸坂代表取締役が宮城県庁を訪問し、副知事に会社からの寄付金と従業員からの義援金を贈呈

- 震災後の経営方針と新体制についての「緊急発表会」が開催される

- 震災後の経営方針と新体制についての「緊急発表会」が開催される

- 震災後の経営方針と新体制についての「緊急発表会」が開催される

- 翁代表取締役(COO)、被災事業所巡回

- 震災復興支援関連製品展示会開始(〜6月15日)

(〜6月15日)



震災復興支援関連製品展示会

6月1日

- 節電対策として、7〜9月の就業時間の30分繰り上げを決定、通達
- また、7〜9月は自動車関連部門を中心に、土日休みから木金休みに変更することを通達

## 宮城県庁訪問

2011年4月6日、井戸坂代表取締役が宮城県庁を訪問しました。イノアックは宮城県で半世紀にわたる企業活動を行っており、救援活動を通じて恩返しを行いたい、イノアックグループ寄付金(100,000,000円)と社員からの義援金(9,224,544円)をお渡しするために、宮城県若生副知事と面談しました。イノアック自体、被災した工場があるなかでの救援活動に対し、感謝の意を頂戴し、寄付金については、産業基盤整備に活用したいとの意向を伺いました。今後も、仮設住宅などへの社有地提供やイノアック製品を通じた復興協力の申し入れを行い、宮城県に対して広い意味での支援活動を行っていく方針をお伝えしました。



## 物資と心をつなぐリレー

東北の3月は、まだまだ寒さが残っていました。震災の日も小雪のちらつくマイナス気温の日で、こんな日が暫く続く中、避難所へマットレスや生活用品などを届けましたが、被災者のみなさんはあり合せの衣服を何枚も重ね寒さを凌いでいました。「ありがとう」の言葉を何度も頂きながら、みんなで荷物運びリレーを行いました。



2011年3月11日、東北地方太平洋沖に発生した地震とそれによって引き起こされた津波は日本に甚大な被害を及ぼしました。

この特集では、3.11におけるイノアックとしての社会的責任、貢献活動について記載し、東日本大震災を契機としたイノアックとしての対策と今後の企業活動展開をご報告します。

3月11日

- 翁代表取締役（COO）を本部長に、震災対策本部を設置
- 主要分野の担当者を決め、全国のイノアック拠点からの、労務・工場建屋・営業・調達に関する情報収集を開始
- 社員および家族の安否確認開始
- 首都圏では公共交通機関がマヒし帰宅困難となり、社員多数が本社（東京）の社内にて宿泊



現場からの声

震災対策本部設置

対策本部事務局  
大矢英男

3月11日震災発生後、翁代表取締役（COO）が本部長となり、直ちに震災対策本部が設置されました。被災地域の社員・家族の安否確認を優先に行い、同時に被災地に必要な物資の確認を取りながら送るという対応を始めました。毎日朝夕、被災地との電話会議により、労務、建屋・設備、営業、調達関係各部門の担当者が連携し、迅速かつ正確な情報共有を図り、対応を行いました。その後、3月25日を以て、この震災対策本部は終了し、各個別対応へと移行しました。

3月12日

- 安城事業所にて震災対策本部本格稼働
- 被災地域事業所の従業員・家族の安否確認および工場建屋・設備の状況確認
- 電話回線不通のため、一部安否確認できず
- 被災地への救援物資輸送検討
- 被災地支援の募金活動を労働組合と会社が協力して行うことを決定
- 顧客および仕入れ先の状況確認とイノアックグループの生産体制検討の緊急会議



若柳工場



小牛田工場



北上工場

3月15日

- 東北イノアック小牛田・若柳工場のインフラは未だ復旧せず
- ガソリン不足も続く
- 東北イノアック3工場は1週間の操業停止を決定
- その他イノアック各事業所でも一部社員の休業開始
- 顧客の生産ラインも休止が相次ぐ

3月17日

● 東京からの支援チームが東北へ出発

3月18日

- 東北イノアック若柳・北上工場のインフラ復旧
- 小牛田工場は電気、ガスが復旧したが断水中
- 各工場の被災状況が明らかに
- 3工場とも、5月、8月の連休で建屋の復旧対応可能と判断

3月22日

● 北上工場の一部生産再開

3月21日

- 支援部隊の第1陣が帰任
- 若柳工場の一部生産再開

現場からの声

被災工場復旧作業

(株)東北イノアック  
高橋裕司



停電が復旧するまでは、火災予防の再点検と通路の確保など、整理・整頓以外は何もできませんでした。工事業業者ももちろん被災しており、他社からの工事依頼も多数あり、部材入手困難など思うように進みませんでした。そんな中、できる限りの協力を行ってくれたのは、やはり地元の業者でした。建物の損傷で心が折れそうになったとき、社員や工事業業者とも、迅速な対応で復旧してくれたことには驚きでした。

支援物資一覧

[大崎市役所及び美里町役場など]

マットレス (10,762枚)	12,433,664円
衣類 (フリースジャケット、ウインドブレーカー、ポロシャツ、Tシャツなど2,124着)	3,111,820円
自転車 (20台)	200,000円
食料 (飲料水、米、味噌など)	818,012円
生活用品 (トイレトペーパー、衛生用品など)	35,208円
合計	16,598,704円

[東北イノアック]

●工場支援物資

自転車	200,000円
水関連	352,500円
その他資材	906,332円
電池・ラジオ・携帯充電器など	285,520円
合計	1,744,352円

●生活支援物資

食品関連	1,555,497円
飲料水関連	381,823円
その他生活資材	1,095,750円
合計	3,033,070円

## 東北イノアックでの 救援チームの活動

～社員の安全確保と一日も早い事業再開のため、  
救援チームはこうして活動を行った～

大震災の起こった直後に、東海地区事業所より被災地へ救援チームが派遣され、  
東北イノアックの3工場で救援活動を行いました。  
その時の模様について、メンバーにお話を伺いました。



グローバル生産企画部  
鳥居伸安



グローバル生産企画部  
野中康佑



グローバル人事総務部  
岩淵周平



施設部 山口貞雄



設備技術部 成河勝

### Q1: どのような経路で 現地へ向かいましたか？

山口：救援チームとして成河さん、鳥居さん、野中さん、岩淵さん、山口の5人と、家族の安否確認のため東北に向かう東北からの出向者2人を乗せ、車2台で3月15日(火) 早朝5時安城事業所を出発、前日震度6の地震があった中越地区を避け、富山～新潟～山形経由で宮城へ向かいました。山形では東北イノアックの関係者と合流し山越えを計画しましたが、大雪のため断念し新庄で宿を探し1泊、ここまでの所要時間は18時間。高速道路内のスタンドはガソリンの販売規制が行われ、1回の販売量は富山で2,000円、新潟で1,000円、山形のスタンドでは長い車の列で給油を断念しました。また富山、新潟県内の高速ドライブインでは他府県からの消防、医療の救援隊で満車状態。事態の大きさを感じました。

### Q2: 現地でのどのような 救援活動を行いましたか？

野中：救援活動チーム、本社側、現地間の調整や連絡を円滑に行くようサポートし、安全面、調達面で素早い復旧支援ができる態勢を整えました。また現地では手が回らない業務を手伝い、現地スタッフの復旧作業がスムーズに行えるように支援しました。

岩淵：社員の安否確認や、対策本部との連絡窓口役、支援物資の要求調査、つまり足りないもの、ほしいものはあるか？の聞き取りや被害状況のまとめなどです。

成河：建屋や設備の現状調査と、生産できるかどうかの確認や業者の対応可否の確認をしました。余震に備えて、破損した建屋プレスの応急修理もしました。

鳥居：設備、ユーティリティ、建物へのダメージの把握と復旧支援です。

山口：社員の安否確認と工場内の被害状況を調査、生産再開のために復旧の優先順位を決定しました。また業者手配、社内対応と電気・水道

復旧とを絡めてスケジュールを作成しました。余震がたびたびあるので、すぐにできることとして建物の倒壊対策も実施しました。

### Q3: ライフラインが 機能していない状態で、 どのような不便を感じましたか？

成河：ガソリンが補給できないので、移動ができない。断水しているので手洗い、うがい、歯磨きができず衛生状態がよくありませんでした。水洗トイレは、雪の中防火用水の水をバケツでくみ上げ給水タンクに補給して使用したので、水がくめる場所があるだけマシでした。暖房については電気のいらぬ灯油ストーブを持ち込んだため、とりえず暖はとれましたが、就寝時は安全のため切っていたので、事務所泊まりで寒い夜を過ごしました。発電機があり最低限の電源は確保でき、ノートPCや携帯電話の充電、照明に使用していました。

鳥居：もろもろ不便と不自由があり、サバイバルでした。救援チームは心も体も丈夫でなければ足手まといになるので、人選は重要だと思います。

### Q4: 東北イノアック社員の みなさんの様子は いかがでしたか？

岩淵：自宅が倒壊まではなくても食器棚が倒れたり、物が落下するなど大変な状況にあつたり、沿岸地域に親戚がいる人も多数いるにもかかわらず、連日出社して復旧作業に従事していて、何とかしようという気合に満ちていました。

山口：「自分達の工場は自分達で守る」という考えが強く、復旧には心強かったです。

鳥居：何とかしようという気迫と連帯感で、逆にこちらが勇気付けられました。

野中：被災者であるにもかかわらず、ほぼ毎日出社し必死に復旧作業に取り組み、復興への気合が感じられたし、黙々と行う様子は士気の高さを身にしみて感じました。

### Q5: 今回の救援活動を経験して、 今後活かせることは？

成河：建屋の耐震補強と設備・機器の転倒防止対策や、緊急時の連絡体制と情報の共有化です。初動、決定を早くすることが重要で、遅いと情報が一層混乱してしまうし、物資は早い者勝ちの争奪戦となるためです。

野中：現地での素早い状況判断を行うためには、本社へ報告・判断・承認では現地での状況変化についていけないと痛感、現地での判断・決定を仰ぐことが必要だと感じました。また被災工場・仕入先・外注先に対して被災状況（インフラ関係・従業員・設備関係）、在庫（製品・仕掛り・材料）や今後の懸念事項（物流・調達・従業員の通勤）などもれなく質問事項を設定できるように、情報収集を標準化する必要があると思いました。

鳥居：言い尽くせないほどたくさんありますが、何事も「人を造る」ことが重要です。

### 東北イノアックとイノアックリビングも 共同で支援活動を展開しました。

(株)東北イノアック 渡辺利友  
(株)イノアックリビング 神谷秀幸

震災の数ヶ月前に宮崎県の新燃岳噴火が起きた際、避難されている住民のみなさんにイノアックリビング製品のマットレスを配布しました。今回の震災直後にもイノアックリビングから、避難所にマットレスを支援物資として送るという提案があり、近隣市町村へ必要性の確認をし、支援を決定しました。マットレスの製品および資材の在庫を確認し、各工場へも臨時で生産協力を依頼しました。あわせて安城の調達チームと連絡を取り、自治体が希望する商品を外部調達し、八名工場より緊急支援物資チャーター便にて運び込みました。善意の押し売りにならないよう、実際に避難所を訪問し、係りの方と物資の必要性を確認し、納入タイミングと数量を決めて対応しました。避難所の方は震災にあつてつらい思いをされたのに、へこたれずに頑張っている姿が印象的でした。また自治体の担当者の方たちは、自分たちも被災者にもかかわらず、住民への支援を優先に考えられている言動に感銘を受けました。後日、市町村のトップからもお礼の言葉を直接頂きました。

# 震災後の各部門の対応

## 安全環境

### 社員の安全確保を最優先に

安全環境管理室では停電時の原料漏れ・油漏れ対策とインフラ再開時対策、賞味期限の確認を含む非常食・防災備品チェック、自家発電・ポータブル発電機調査と設置依頼などを行いました。

地震発生直後には、携帯・固定電話全てが不通となりましたが、非常時連絡用の衛星電話を通じて東北イノアック3工場(小牛田・若柳・北上工場)の状況を確認、その後の連絡・指示を行いました。有事の際の衛星電話の有効性を認識し、各事業所への衛星電話設置数を増やしました。社内イントラネットには「非常災害防衛規定」を掲載し、イノアック社員への周知も徹底しました。

今後、イノアック危機管理を自然災害のみでなく、広く危機管理をすべく、危機管理委員会の設置を計画しています。

## 調達

### グローバル調達ネットワークを活かして

#### 1. 震災直後の生活支援物資調達

被災された従業員ならびに家族、地域住民の方々の生活支援を最優先に、食料や水、日用品の調達確保と(株)イノアックリビング、井上護謨工業㈱の協力によりマットレスや移動手段としての自転車を確保し、物流グループとの連携にて被災地へ納入しました。

#### 2. 生産再開に向けた原料・資材確保

生産再開時の生産活動に支障が生じないように原料・資材関係サプライヤーならびに部品仕入先の被災状況と供給対応に関する確認と関連部門への情報提供を実施しました。供給困難材料の対応状況については社内イントラネットにも掲載し、情報共有を徹底しました。

#### 3. 備えあれば憂い無し

①備蓄品整備と緊急時に必要な調達アイテムリスト、調達先のリストを整備しています。

②供給リスク対策として、世界のどこかで何が起きても生産活動に支障が出ないような安定供給体制の構築をします。

## 営業

### 迅速にお客様への対応ができるように

正確に、スピーディーに大震災による各方面の影響を把握し、お客様への影響が最小限になるように努めてきました。まず、報告フォーマットを使用して、大震災によるお客様への影響、被害状況や稼働見込の確認を営業担当者全員で手分けして実施しました。この情報は毎日本社対策本部へ報告し、情報共有を徹底しました。

また東北営業所の事務所が復旧稼働するまでの間、東北営業所へ入った電話問合せはすべて中部支店および東京支店に自動転送されるように設定し、この旨のご案内をホームページ上でも発信しました。

そして東北イノアックが生産・納入する製品リストの在庫確認をベースに、お客様との納期調整対応や生産拠点移管、材料変更などの4M(man:人、method:方法、machine:機械・設備、material:材料)変更手続きの対応をしました。営業部門では、災害時であっても迅速にお客様への対応ができるよう危機管理に努めていきます。



## イノアック防災・復興支援用品シリーズのご案内

イノアックのコアであるウレタン・ゴム・プラスチックと新素材/複合素材。長い歴史の中で培われた、高分子化学技術から生まれた多様な素材とそこから生まれた高付加価値製品。これらを用いた日常の防災製品から震災復旧、復興に貢献する製品をご紹介します。

### 保温用品



ベリヤー暖ケット ベリヤー暖シュラフ

ベリヤー暖ポンチョ

### マット・敷物



洗える畳

防災マット

### 停電関連用品



蓄冷剤

ネオカルター

### 避難所・仮設住宅関係



おふとんセット

### 安全用品・日用品



メラミンスポンジ

レイガード